

# 農業塾第6講 花き栽培基礎・直売所視察



はじめに会議室にて、菊の栽培基礎や、クジャクソウ・キクの苗作りについて講義をおこないました。

菊は昼間の時間が短くなると花を咲かせるため、電照などによって、開花を調整し、需要の多い時期に合わせて出荷を調整しているとのことでした。

また、苗作りについては事前にトレーに培土を入れて準備したものをういて説明をおこないました。

定植は塾生自身でおこなってもらい、次回の講義の際にお渡しする予定です。

次にフラワーパッケージセンターとシンテッポウユリ圃場を視察しました。

パッケージセンターでは持ち込みされた花の箱詰めをおこなっています。つぼみや葉の痛み、茎の状態などを厳しくチェックされていました。

また、ユリの圃場では現在、出荷最盛期のお盆に向けて管理作業がおこなわれていました。

大変暑い中の視察でしたが、みなさん熱心に聞かれていました。



最後にJAふくおか八女の直売所であるよらん野の視察をおこないました。

よらん野では、店長が、店舗の概要・現在の会員数（710名）・運営規定などの説明を行いました。会員は前年より23名増えており、売り上げも年々増加しているそうです。

説明の後、館内の青果売り場を視察。多種多様な農産物とお客様の多さに、塾生は大変刺激を受けた様子でした。



事務局の原からひとこと

**講義終了に、塾生のみなさまにガーベラ・ユリの花束をプレゼント。大変好評でした。**